

遼寧だより(令和6年2月)

■ 2月の実施事項について

2/6 (火)	再渡航	
2/10 (土) ~ 2/17 (土)	春節休暇	… (1)
2/14 (水) ~ 2/15 (木)	吉林省長春市視察	… (2)
2/28 (水)	春学期開始	
	令和5年度天皇誕生日祝賀レセプション兼 浜田隆総領事着任レセプション	… (3)

(1) 春節休暇について

2024年の春節は2月10日から17日までの8日間でした。本場の中国で過ごせるということで私も春節の訪れを楽しみにしていました。瀋陽では春節に入る数日前から帰省のため徐々に人が少なくなり、期間中は大半のお店が休暇や短縮営業に入っていました。私も食糧をストックして春節に臨みます。

日本の大晦日にあたる2月9日は除夕(チューシー)といい、家族が集まる大切な日です。中国東北部では除夕に手作りの水餃子を食べる文化があります。また、お祝い事があると爆竹を鳴らすのが慣例であり、瀋陽もあちこちで爆竹の音が聞こえていました。爆竹は地面に並べて点火するものや、打ち上げ式のものがあり、期間中は毎日、絶え間なく爆竹の音が聞こえていました。近年では騒音や大気汚染対策のために爆竹の使用を制限する場所も増えていますが、それでも期間中は盛大に鳴っていました。

日本以外で年を越したのは初めてでしたが、中国の年越し文化を体験し、新年の到来を実感することができました。

(2) 吉林省長春市視察について

2月14日(水)から1泊2日で吉林省長春市に滞在しました。吉林省は中国東北部に位置し、南西部を遼寧省と接しています。今回訪れた吉林省の省都である長春市は、高速鉄道を使うと瀋陽から1時間強で行くことができます。瀋陽もありますが、長春にも路面電車が通っています。車道の真ん中を走る路面電車をみると富山が少し恋しくなりました。

中国で氷祭りと言えば、黒竜江省のハルピン氷祭りが有名ですが、今回は長春

の氷祭りに行ってきました。長春冰雪新天地は、今年で5回目の開催となる比較的新しい氷祭りです。城や寺院、龍などをかたどった巨大な氷の建造物や、氷で作られた迷路、大人も滑れる長い滑り台など広大な敷地に様々なアトラクションがありました。氷の中には電飾が埋め込んであり、夜になると色鮮やかにライトアップされていました。各地から多くの人々が訪れており、近年、東北三省が力を入れている「冰雪経済」の好事例を体感することができました。

2日目には偽満皇宮博物院を見学しました。清朝の最後の皇帝である溥儀が満州国皇帝として住んでいた宮殿で、当時の抗日戦争の歴史や生活について展示されています。日本の建築技術を用いて作られた建物や庭園があり、展示には日本語の解説もありました。日本と中国の長い歴史の一部分を実際に目にすることができました。



路面電車



長春冰雪新天地



偽満皇宮博物院 日本式の部屋



偽満皇宮博物院 溥儀の執務室

(3) 令和5年度天皇誕生日祝賀レセプション兼浜田隆総領事着任レセプションについて

2月28日(水)に駐瀋陽日本国総領事館主催の天皇誕生日祝賀レセプションに出席しました。瀋陽市内のグランドハイアットホテルにて行われ、日中両国から約250名が参加しました。今回のレセプションは昨年11月に着任した浜田隆総領事の着任レセプションも兼ねており、挨拶では、富山県と遼寧省の友好協定締結が今年40周年を迎えることにも触れ、地方政府間交流が今後も加速するよう後押ししたいとの発言もありました。会場の外には企業や地方自治体のブースが設置され、富山県のブースでは高岡漆器や能作のぐいのみなどの伝統工芸品の展示や、日本酒が振舞われました。



会場の様子



富山県ブース